

正誤表

『改訂2版 この1冊で合格！ 村中一英の第1種衛生管理者 テキスト&問題集』

本書の記述につき、下記のとおり誤りがございました。お詫びと共に訂正させていただきます。

(2024年10月10日現在)

初版訂正分

ページ	誤	正
P 42 「呼吸のしくみと働き」の7行目	肋間筋などの 呼吸筋と横隔膜	呼吸筋（肋間筋と横隔膜）
P 50 「肝臓の働き」表の5行目	・血液凝固物質や血液凝固阻止物質を生成（アルブミンなどの血漿タンパク質）	・アルブミン、フィブリノーゲン（血液凝固物質）などの血漿タンパク質の合成
P 52 「腎臓の働き（まとめ）」表の2行目	血球、タンパク質は分子が大きいためボウマン嚢を 通過できず 、毛細血管へ戻される	血球、タンパク質は分子が大きいためボウマン嚢に こし出されず 、毛細血管へ戻される
P 52 「腎臓の働き（まとめ）」表の4行目	糸球体からボウマン嚢 で 濾過されて	糸球体からボウマン嚢に濾過されて
P 54 「神経の種類と構造」の1行目	神経は、肉眼的に見ると頭蓋骨や 脊髄 に囲まれた	神経は、肉眼的に見ると頭蓋骨や 脊椎 に囲まれた
P 57 「受かる！ 一問一答」のQ2	大脳の皮質は、神経細胞の集まっている タンパク質 で、感覚、思考などの作用を支配する中枢として機能する。	大脳の皮質は、神経細胞の集まっている 灰白質 で、感覚、思考などの作用を支配する中枢として機能する。
P 68 「音の単位」表の2行目 P 99 「音の単位」表の2行目	音の強さ（ 騒音レベル ）を表す単位（音圧）	音の強さを表す単位（音圧）

<p>P94 「リスクアセスメントの実施」の 2～4 行目</p>	<p>① リスクアセスメント対象物に係る危険性 または有害性の特定 } リスクアセスメント ② リスクの見積り ③ リスクの見積り等に基づくリスク低減措置の内容の検討</p>	<p>① リスクアセスメント対象物に係る危険性 または有害性の特定 } リスク アセスメント ② リスクの見積り ③ リスクの見積り等に基づくリスク低減措置の内容の検討</p>
<p>P103 「食中毒の種類」の2行目</p>	<p>細菌、ウイルス、原虫などが原因で</p>	<p>細菌が原因で</p>
<p>P110 「施設・設備面の対策」の14行 目</p>	<p>②たばこの煙が室外から室内に流出しないよう、</p>	<p>②たばこの煙が室内から室外に流出しないよう、</p>
<p>P134 「疾病休業統計」の「主要な労働衛生管理統計」の③</p>	<p>③疾病休業日数率（在籍労働者の延所定労働日数あたりの疾病休業延日数の割合）</p>	<p>③疾病休業日数率（在籍労働者の延所定労働日数100日あたりの疾病休業延日数の割合）</p>
<p>P173 「対象者」の3行目</p>	<p>以下の有害な業務に従事させたことのある労働者で、</p>	<p>以下の有害な業務のうち③、④、⑦に従事させたことのある労働者で、</p>